

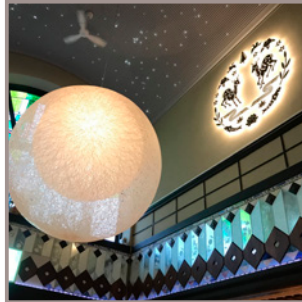


第10期 株主通信

中間期

2024年1月1日~6月30日

BUSINESS REPORT



目次

P3	株主のみなさまへ
P4	今期の事業概要
P6	事業戦略
P8	新規グループ参画会社紹介
P10	連結業績ハイライト
P12	連結財務諸表
P14	会社情報/株主メモ

お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップのサービスをご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、株式会社日本創発グループ第10期(2024年1月1日~2024年6月30日)の事業概要につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間においては、雇用環境・所得の改善、インバウンド需要の増加などによって社会・経済が活性化し、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、世界的な物価の上昇に加え、円安による影響で建設資材や食品などの物価が上昇したため、消費抑制が懸念されています。また、長引くウクライナ紛争や中東情勢などの不安定な国際情勢が続いており、世界的なインフレ率の高止まりによる金融引き締めが継続していることなど、為替動向や金融資本市場の変動をはじめとする先行き不透明な状況も続いています。

当社企業グループの事業の環境は、電気・ガスの燃料や、紙・インクなどを含めた原材料価格が、いまだ高水準で推移するという厳しい状況が続きました。一方、インバウンド需要やサービス関連消費が順調に回復し、企業の広告宣伝活動も順調に回復したことで、販促ツール・サービスの需要が増加しました。当社企業グループは、お客さまにより付加価値の高いサービスを提供するため、事業環境の変化や事業戦略に基づき将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。企画提案・製造・製作からメディアによる配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果により、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は383億6百万円(前年同期比6.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は16億9百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。そのためにも、クリエイティブサービス事業を中心としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく一段と努力してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



2024年8月

代表取締役社長 藤田 一郎

今期の事業概要

印刷市場の縮小トレンドへの対処と脱印刷への布石

国際情勢が不安定な状況が継続する中、国内需要をコアとする当社企業グループの2024年中間連結会計期間の売上高・営業利益・経常利益・EBITDA*はすべて過去最高の数値となりました。

国内の印刷需要の縮小トレンドは不変ではありますが、印刷関連事業各社は多面的な提案営業を活性化することにより、安定的な業績を確保し、当社企業グループの経営数値を支えています。

しかしながら従前型の印刷市場の縮小傾向を真正面からとらえると、脱印刷の戦略を進めることは不可欠であります。

プロダクツ事業においては、当社が20%、株式会社funboxが80%を出資しインドネシア共和国ジャカルタ近郊において新会社を7月に設立することを決定。キャラクター商品・ノベル

ティの製造を開始することとなりました。

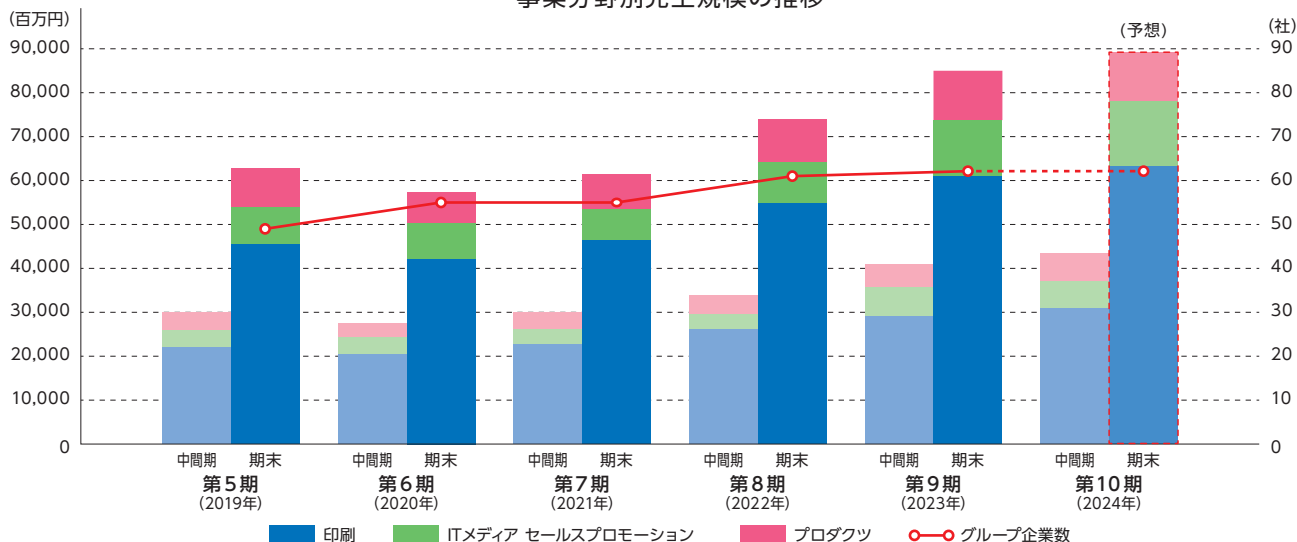
株式会社funboxは、愛知県において需要が旺盛なキャラクター商品・ノベルティの企画製造を行う新製造拠点設置の準備に着手しております。

ITメディア セールスプロモーション事業においても、出版社として2社目となる株式会社アスコムを当社企業グループに迎え、メディア事業の多角化を進めております。

当社企業グループは、お客さまの多様化したニーズにお応えするため、新たな当社企業グループへ参画する企業を戦略性をもって受入れ、かつ既存当社企業グループとのシナジー創出を促進するべく進んでまいります。

*EBITDA=経常利益+減価償却費+のれんの償却額+金融費用

事業分野別売上規模の推移



※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

日本創発グループのSDGsへの取り組み

世界的な異常気象の報道が相次いでおり、地球規模での環境負荷軽減に対する取り組みの重要性が増しています。印刷関連事業およびITメディア セールスプロモーション事業においては、2021年より事業活動に関するCO₂排出量を継続して記録してまいりました。2024年中間連結会計期間におけるCO₂排出量は、前年同期間に比較して約4%減少しました。売上高の増加率6.5%に比較し減少したのは、自社グループでのワンストップサービスを進めることで、削減に向けた取り組みを効率良く推進したことによるものです。

今後とも当社企業グループは環境保全に向けた活動に積極的に取り組んでまいります。



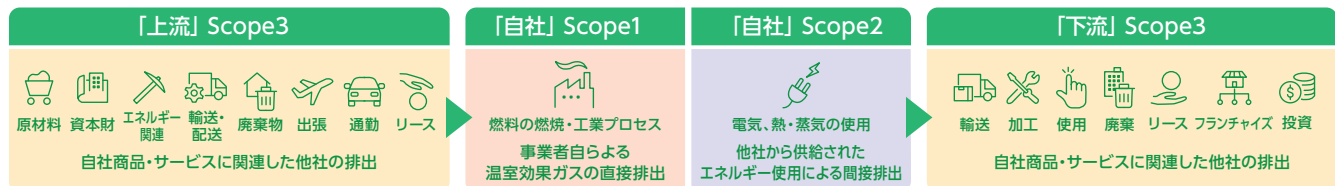
	Scope1	Scope2	Scope3	合計	前年同期比	前年同期 合計(t-CO ₂)
2024年1月～6月	2,619	9,990	97,879	110,488	96%	115,607

※日本創発グループ 印刷事業・プロダクツ事業 16社

- Scope1** 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- Scope2** 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3** 上記以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

ワンストップサービスの拡大は、
CO₂削減にも効果があります。

温室効果ガス排出量の算出にはScope1～3の範囲が存在します。



企画・営業から製造・納品までをワンストップ

印刷関連事業において①2月に埼玉県を営業地盤とする望月印刷株式会社を子会社し、営業エリアを拡張しました。②100%子会社であった成旺印刷株式会社と共同製本株式会社が合併することにより共同製本株式会社を子会社化し、製本ノウハウをグループへ取り込み、ワンストップ対応能力の向上を図りました。③6月において子会社である飯島製本株式会社の関東事業を共同製本株式会社へ継承することにより、関東圏における製本製造能力の増強をはかりました。

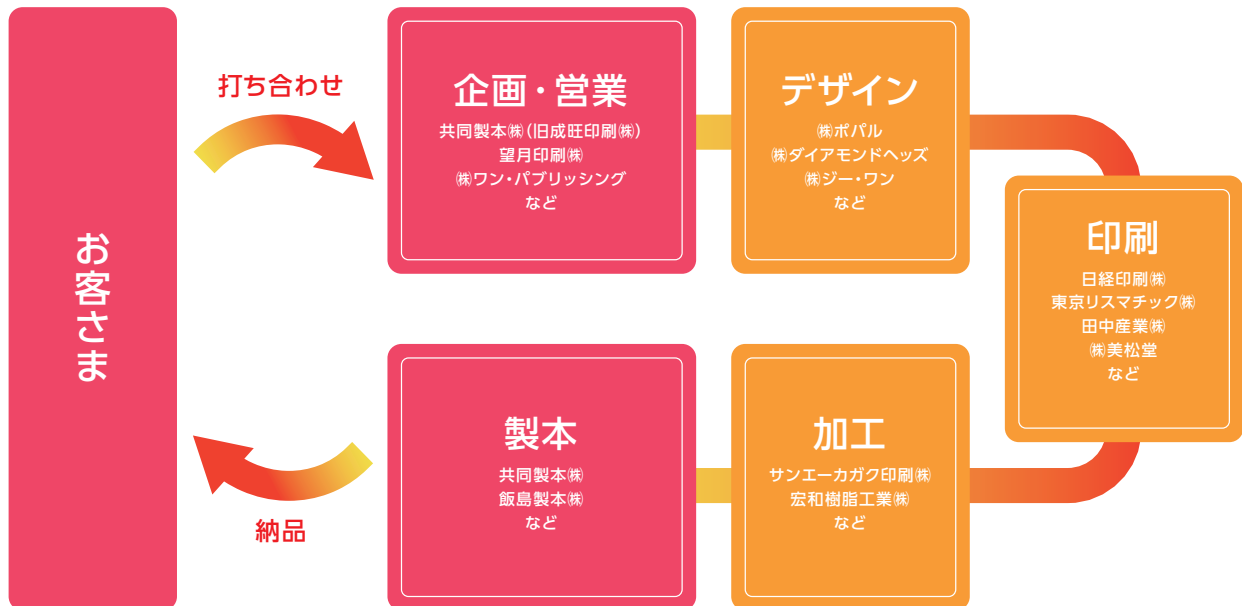
印刷関連事業における印刷工程のキャパシティは現時点では調和状態にあります。製本専業会社数は減少傾向にあり、将来に

向けて後工程である製本工程のノウハウ・キャパシティの確保は中長期的課題でありました。

②③のアクションにより、グループ全体の営業活動と生産活動がより活発化することを想定しております。

ITメディア セールスプロモーション事業では、健康・教養・実用分野を得意とする書籍出版の株式会社アスコムを2月に子会社化しました。印刷製造インフラをグループに有する出版社としてワンストップでの提供体制を進めてまいります。

グループ間のコミュニケーションを一層促進することで、より高次元のワンストップ体制を構築するよう邁進します。



人的資本経営に向けて

当社は、当社企業グループの事業の拡大と事業業態の多様化を進めております。

人的資本経営をより合理的かつ有機的に推進することを目的として、当社および当社企業グループの人財を包括管理可能とする人事統合システムの導入に着手しております。

2025年中の稼働を予定しており、このシステムと組織運営により、次代の経営管理パフォーマンスを向上させるとともに、人的資本に関連し必要とされる東京証券取引所の開示要請にも対応できるよう、人事統合システムの稼働に向けアクションをしております。



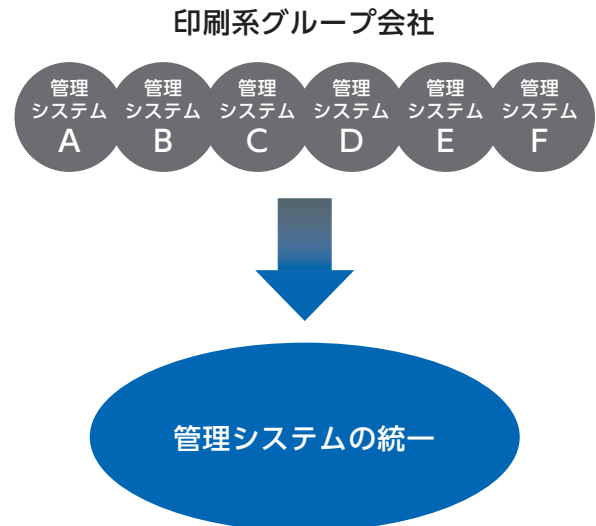
基幹システムの整備

印刷関連事業における販売管理システム・製造管理システムはグループ各社に複数のシステムが現存し、2024年6月時点において6種類のシステムが稼働しております。

印刷製造グループのグループ会社間における協業生産やワンストップサービスの増加により、統一システムの実現が最適解であるとの認識を持つに至っております。

IT統制・内部統制システムに適合する最適なパッケージソフトが存在しないことから、信頼できるIT会社様へその設計段階より関与いただき、2027年中の稼働を計画しております。

印刷関連事業とプロダクツ事業間においても、また印刷関連事業とITメディア・セールスプロモーション事業間においてもワンストップサービスの流れが加速していることからグループ事業全体での統合可能な基幹システムの構築も視野に入れております。



新規グループ参画会社紹介



2023年12月子会社



株式会社ゴーゴープロダクション

着ぐるみの制作販売・着ぐるみショーの企画・アクターの育成派遣

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-33-10 丸二ビル1F

<https://55pro.jp>

非連結子会社 議決権比率:100%

日本で唯一の着ぐるみ専門会社です。「着ぐるみとは最高のコミュニケーションツールである」という理念のもと、見る人の心に感動を与えられる着ぐるみエンターテインメントを

お届けしています。着ぐるみ製作からショーの企画・制作・上演、パフォーマーの育成・派遣、着ぐるみの保守管理、ダンススタジオ運営など、多岐にわたってサービスを提供しています。



2024年3月連結



株式会社アスコム

ビジネス・経済・健康・教育・生活実用ジャンルの書籍出版等

東京都港区西新橋2-23-1 3東洋海事ビル8F

<https://www.ascom-inc.jp>

連結子会社 議決権比率:95.43%

アスコムは「コンテンツで人に喜びを届ける」理念のもと、多数のベストセラー書籍を世に送り出してきた出版社です。BtoC領域では書籍出版を、BtoB領域では企業のマーケティングやブランディング支援を行っています。書籍はビジネス書、実用書を中心に刊行。「日本の伝統食材の

価値の再発見」をテーマにした書籍『医者が考案した長生きみそ汁』は80万部を突破し、味噌の国内消費量を高めるきっかけに。40万部を突破した書籍『空腹こそ最強のクスリ』では16時間ファスティングブームをつくるなど、社会的ムーブメントを創出している出版社です。



2024年3月連結

共同製本

共同製本株式会社

製本・発送・管理等関連サービス

東京都千代田区神田神保町3-5

<https://kyodoseihon.com/>

連結子会社 議決権比率:94.00%

埼玉県さいたま市に浦和工場を有する110余年の業歴の製本会社です。2月には成旺印刷株式会社の営業基盤を取り込みました。6月には飯島製本株式会社の関東における営業基盤と埼玉県嵐山町にある嵐山工場の生産基盤を継承し本社はグループ協業を進めるために東京都千代田区に

移転しました。共同製本株式会社は当社企業グループの製本能力の軸となる会社であります。

今後は最新鋭設備の投資を行い、より競争力を高めてまいります。



2024年3月連結

望月印刷株式会社

Mochizuki Printing Co.,Ltd.

望月印刷株式会社

商業印刷を軸としたメディアコミュニケーション支援企業

埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-195-1

<https://www.avenue.co.jp/>

連結子会社 議決権比率:93.60%

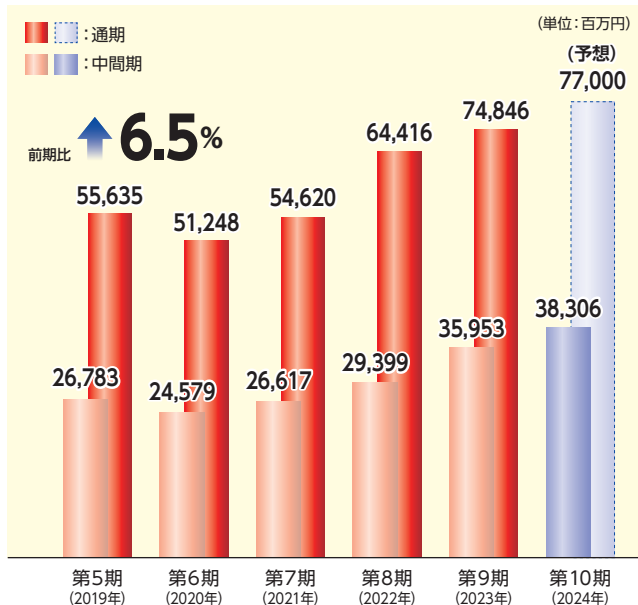
埼玉県さいたま市で業歴60余年を有する商業印刷を中心とした総合印刷会社です。

地域に密着した提案力をより強化するため、工場と一体であった営業部門を大宮駅から徒歩3分のロケーションに拠点を

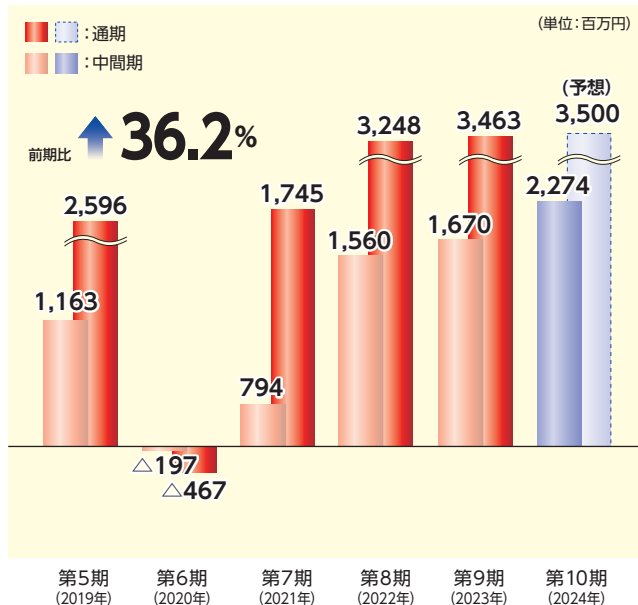
移し、グループのワンストップのインフラを最大活用した、印刷にとどまらない提案を目指しています。浜松・岡山・西宮(兵庫県)に続く、その地域の知見を併せ持った総合ドキュメントカンパニーとして地域貢献を心に秘めて成長を目指します。

連結業績ハイライト

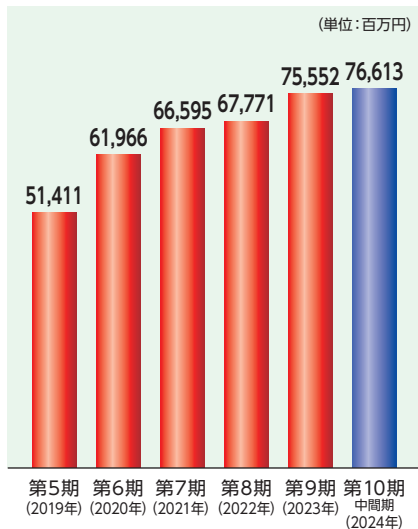
◆ 売上高



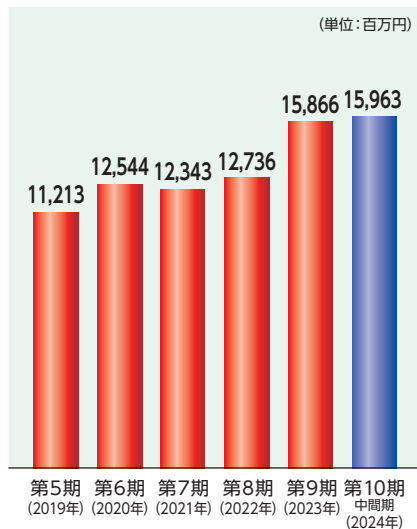
◆ 営業利益



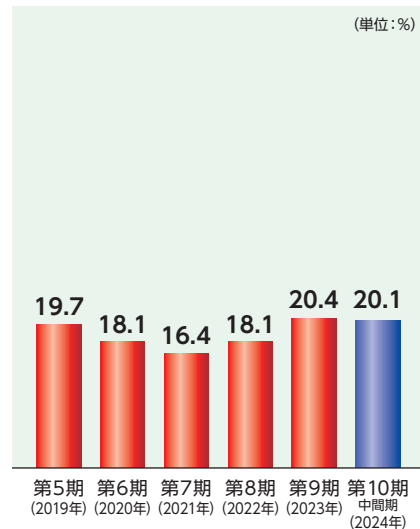
◆ 総資産



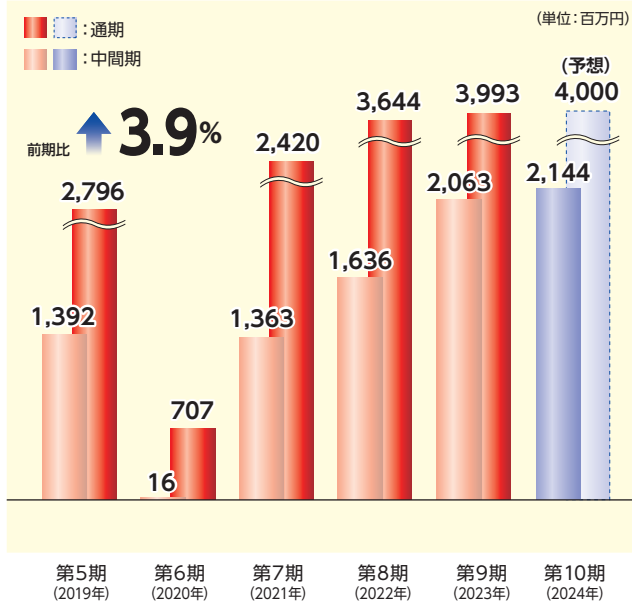
◆ 純資産



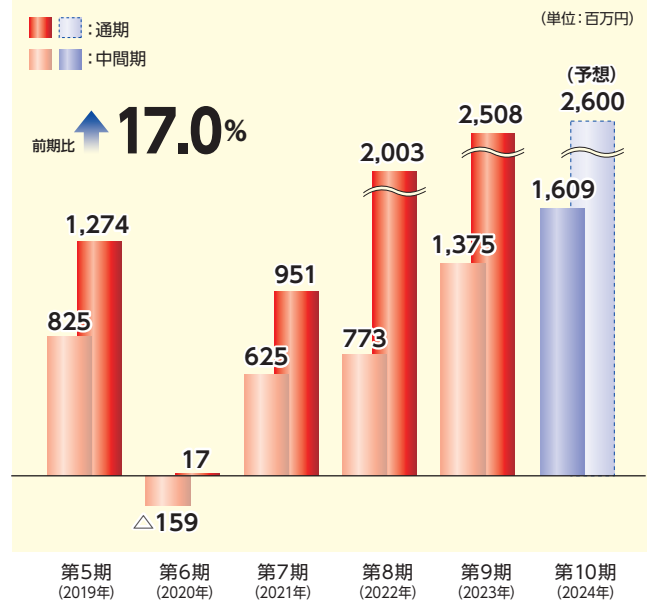
◆ 自己資本比率



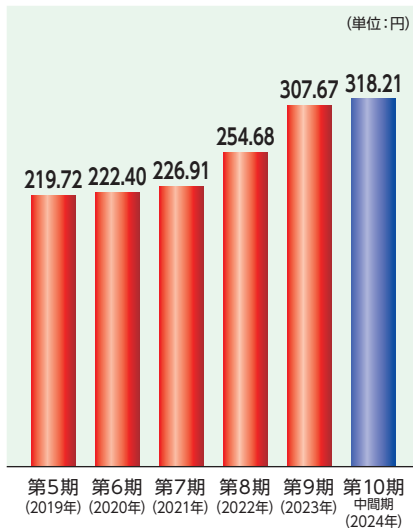
◆ 経常利益



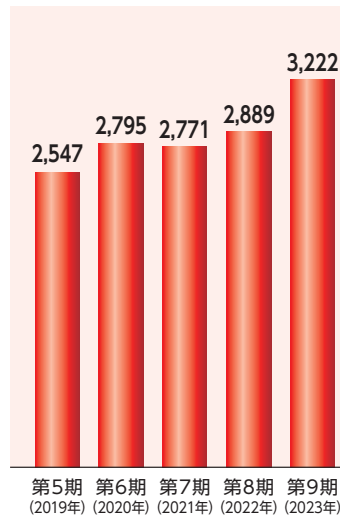
◆ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益



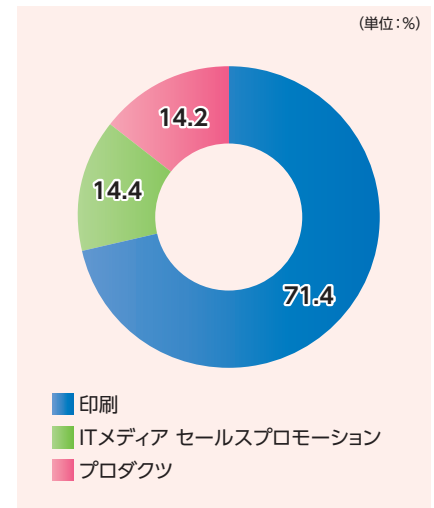
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。第5期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

連結財務諸表

◆ 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期		当期		科目	前期		当期	
	2023年12月31日現在		2024年6月30日現在			2023年12月31日現在		2024年6月30日現在	
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	37,381	36,830	流動負債	38,186	40,554				
現金及び預金	14,386	17,347	買掛金	3,778	4,572				
受取手形、売掛金及び契約資産	13,223	11,668	短期借入金	25,000	25,000				
その他	9,771	7,814	その他	9,407	10,981				
固定資産	38,171	39,783	固定負債	21,499	20,096				
有形固定資産	27,814	28,803	長期借入金	17,975	16,225				
建物及び構築物	7,979	8,019	退職給付に係る負債	127	22				
機械装置及び運搬具	2,750	2,932	その他	3,397	3,848				
土地	16,577	17,303	負債合計	59,685	60,650				
その他	506	548	(純資産の部)						
無形固定資産	940	1,122	株主資本	14,985	15,067				
のれん	146	153	資本金	400	400				
その他	794	969	資本剰余金	4,692	4,363				
投資その他の資産	9,416	9,857	利益剰余金	10,121	11,403				
投資有価証券	5,914	6,127	自己株式	△ 227	△ 1,098				
その他	3,501	3,729	その他の包括利益 累計額合計	439	355				
資産合計	75,552	76,613	非支配株主持分	441	540				
			純資産合計	15,866	15,963				
			負債及び純資産合計	75,552	76,613				

◆ 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2023年1月1日から 2023年6月30日まで	2024年1月1日から 2024年6月30日まで
売上高	35,953	38,306
売上原価	26,126	26,823
売上総利益	9,826	11,482
販売費及び一般管理費	8,156	9,207
営業利益	1,670	2,274
営業外収益	598	518
営業外費用	205	648
経常利益	2,063	2,144
特別利益	584	311
特別損益	488	258
税金等調整前中間純利益	2,159	2,197
法人税等	793	657
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 9	△ 70
親会社株主に帰属する中間純利益	1,375	1,609

◆ 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2023年1月1日から 2023年6月30日まで	2024年1月1日から 2024年6月30日まで
中間純利益	1,366	1,539
その他有価証券評価差額金	360	△ 86
繰延ヘッジ損益	1	2
その他	△ 1	2
その他の包括利益合計	360	△ 81
中間包括利益	1,727	1,457

◆ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2023年1月1日から 2023年6月30日まで	2024年1月1日から 2024年6月30日まで
営業活動によるキャッシュフロー	1,872	7,464
投資活動によるキャッシュフロー	284	△ 939
財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,646	△ 3,556
為替換算差額	2	1
現金及び現金同等物の増減額	512	2,970
現金及び現金同等物の期首残高	10,355	14,355
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,868	17,326

◆ 中間連結株主資本等変動計算書 (2024年1月1日から2024年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 剩 余 金	利 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	400	4,692	10,121	△ 227	14,985	443	△ 4	439	441	15,866
当中間期変動額										
剰余金の配当			△ 327		△ 327					△ 327
親会社株主に帰属する中間純利益			1,609		1,609					1,609
自己株式の取得				△ 889	△ 889					△ 889
自己株式の処分		5		18	23					23
連結子会社株式の取得による持分の増減		70			70					70
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△ 405			△ 405					△ 405
その他			△ 0		△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△ 86	2	△ 83	99	15
当中間期変動額合計	-	△ 329	1,281	△ 870	81	△ 86	2	△ 83	99	96
当中間期末残高	400	4,363	11,403	△ 1,098	15,067	357	△ 1	355	540	15,963

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商号 株式会社日本創発グループ
英文商号 JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事業内容 傘下グループ会社の経営管理およびそれに付随する業務
設立年月日 2015年1月5日
本社所在地 〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資本金 400,000,000円
決算期 12月31日
会計監査人 PwC Japan有限責任監査法人
取引金融機関 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数 3,222名(2023.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士 荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証券コード 7814
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式総数 51,000,000株
1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行
決算期 12月31日
定時株主総会 3月

■ 役員

代表取締役社長 藤田 一郎
取締役 鈴木 隆一
取締役 林 基史
取締役 菊地 克二
取締役 監査等委員 瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員 寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員 篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員 菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員 儘田 佳代子(社外)
取締役 監査等委員 山下 あや(社外)
取締役 監査等委員 三好 真由美(社外)
取締役 監査等委員 濱谷 美穂(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL: http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を拝見すること。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにととのプラスαを追求し続けます。

我が事として 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

	①	②	③
④			
⑤	⑥	⑦	
		⑧	

- ①独自の企画アイデアとオリジナルデザインで生み出された便箋や雑貨は、女性を中心に高い人気を誇っています。(株式会社エヌビー社)
- ②3Dデータを入出力するサービスを提供しています。3Dスキャナ機材とソフトウェアを駆使し、360度撮影も可能です。(株式会社立体造形工房)
- ③雑誌やWebサイトの運営に加え、モデルマネジメント事業も行っています。発信力のあるモデルたちは、インフルエンサーとしても活躍中です。(株式会社ワン・パブリッシング)
- ④大阪にあり、グループ5社が同居する「なんばスミソウビル」は西日本の拠点です。会議等での利用はもちろん、イベントスペースとしても機能しています。
- ⑤800タイトル以上のゲームプロジェクトに携わってきた経験・実績を活かし、質の高いグラフィック制作が可能です。(クラウドゲート株式会社)
- ⑥屋外看板の設置のみならず、建設業としても事業を展開。デザイン性豊かな屋内の内装工事も請け負っています。(大光宣伝株式会社)
- ⑦3D都市モデルを基に制作した「パーチャル秋葉原」のメタバース空間です。世界中どこからでも街の魅力を堪能できます。(株式会社キヤドセンター)
- ⑧「切り絵御朱印」は、伝統的な日本の文化と現代のアートが融合した特別な作品。繊細で緻密なデザインは、参拝者のコレクションとしても人気です。(新日本工芸株式会社)



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを
採用しています。